

「出題の意図」

選抜区分	2022（令和4）年度（選抜区分：後期日程） 外国語学部 中国学科（科目名：小論文）
出題の意図 （評価のポイント）	<p>問一</p> <p>今井むつみ氏、針生悦子氏の『言葉をおぼえるしくみ』（筑摩書房、2014年）から、外国語における語彙の学習に関する章を題材として、受験生の文章読解力と作文力を問うた。問題文では、日本における外国語の語彙学習教育では学習者が一つ一つの語を的確に運用できるかはほとんど考慮されていないこと、また、母語と外国語で一見対応する単語があると意味も重なると考えがちであることが指摘された上で、外国語学習では、外国語と向き合いながら母語について言語感覚を磨いておくことが重要であると論じられている。著者の主張を的確に理解し、指定文字数以内におさめられているかが評価のポイントとなる。</p> <p>問二</p> <p>語彙学習というと外国語学習では中心的なテーマの一つである。少し抽象的な問いかけではあるが、問一の内容要約を基礎とし、自身のこれまでの学校や家庭での語彙学習の経験などを織り交ぜながら、自身の意見を論理的に展開する力量を問うた。</p>